

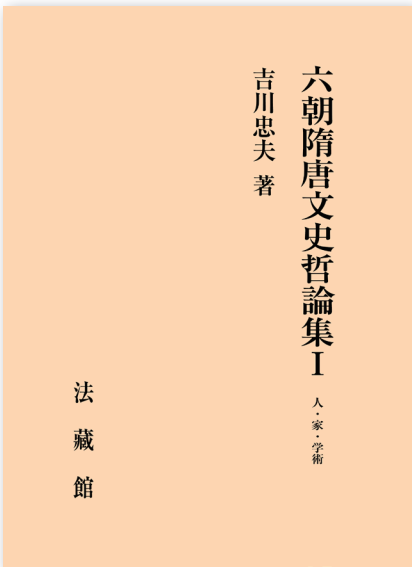
六朝隋唐文史哲論集Ⅰ 人・家・学術

よしかわただお
吉川忠夫 [著] A5判・上製函入・六三四頁・本体一〇、五〇〇円＋税

六朝隋唐期の学術史・宗教史研究にひとときわ輝かしい成果を著わしてきた著者がみずから論考を厳選して編んだ待望の論文集。

学術史を明らかにする二二篇を収録。
※『六朝隋唐文史哲論集Ⅱ』と同時刊行。

2020年11月刊行



【目次】

緒言

序章 六朝隋唐時代の社会と思想

第Ⅰ部 人と家

- 一章 歴史のなかの伯夷叔斉
- 二章 薄葬の思想
- 三章 皇甫謐の「篤終論」
- 四章 陶淵明の「戒子書」をめぐる
- 五章 此れも亦た人の子なり
——六朝時代における「四海の内皆な兄弟」の思想——
- 六章 読「庭誥」
- 七章 梁の徐勉の「誡子書」
- 八章 嶺南の歐陽氏
- 九章 李泌と『鄴侯家伝』
——道士として、僧として、また官人として——
- 十章 中唐の韋渠牟

第Ⅱ部 学術

- 十一章 劉軻伝——中唐時代史への一つの試み——
- 一章 六朝時代における家学とその周辺
- 二章 鄭玄の学塾
- 三章 後漢末における荊州の学術
- 四章 蜀における讖緯の学の伝統
- 五章 汲冢書発見前後
- 六章 裴駰の『史記集解』
- 七章 北魏孝文帝借書放
- 八章 島夷と索虜のあいだ
——典籍の流传を中心とした南北朝文化交流史——
- 九章 元行沖とその「釈疑」をめぐる
- 十章 韓愈と大顛

初出一覧
索引

【著者略歴】一九三七年、京都市生まれ。京都大学文学部史学科卒業、同大学院文学研究科博士課程単位取得退学。東海大学文学部専任講師、京都大学教養部助教を経て、京都大学人文科学研究所助教、同教授（一九九一～一九九三年所長。二〇〇〇年、停年退官。京都大学名誉教授。花園大学客員教授、国際禅学研究所所長、龍谷大学文学部教授を経て、同大学客員教授。日本学士院会員。
〔主著〕『劉裕』（人物往来社。後に中公文庫）、『王羲之——六朝貴族の世界——』（清水新書、清水書院。増補して岩波現代文庫。後に清水書院「新・人と歴史拡大版」）、『侯景の乱始末記——南朝貴族社会の命運——』（中公新書。後に増補して志学社選書）、『六朝精神史研究』（同朋舎出版）、『中国古代人の夢と死』（平凡社選書）、『秦の始皇帝』（集英社。後に講談社学術文庫）、『魏晉清談集』（講談社）、『書と道教の周辺』（平凡社）、『古代中国人の不死幻想』（東方書店）、『中国人の宗教意識』（中国学芸叢書、創文社）、『讀書雜誌——中国の史書と宗教をめぐる十二章——』（岩波書店）、『顔真卿伝——時事はただ天のみぞ知る——』（六朝隋唐文史哲論集Ⅱ——宗教の諸相——）（いずれも法藏館）など。

注文書		様冊	
(書店名)		ご担当	
法藏館		一〇、五〇〇円＋税	
吉川忠夫著		住所	
六朝隋唐文史哲論集Ⅰ		お名前	
人・家・学術		お電話	
ISBN978-4-8318-7740-6 C3022		お名前	

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

東洋史